

防止隊だより 令和7年8月号

特集1：通常総会結果報告とご挨拶
特集2：温暖化防止と「地域循環共生圏」
イベント紹介：MMB 岡崎！ 三河最古の名刹
「真福寺」を訪ねて

特集 1：令和7年度通常総会の結果報告と防止隊代表より挨拶

令和7年度通常総会のご報告と代表挨拶

令和7年度岡崎市地球温暖化防止隊の通常総会は、書面表決とさせていただきます。決議結果につきましては、全ての議案が「承認」となりました。お忙しい中、ご回答いただき誠にありがとうございました。

引き続き岡崎市地球温暖化防止隊代表を務めさせていただきます織田重己より、ご挨拶を申し上げます。

この度は総会に提出しました議案にご賛成いただきまして、誠にありがとうございました。

マンパワーの減少する中、例年と同様なるべく多くの事業を計画しました。事業のボリュームそのものは昨年度と同等の計画です。特に重要なのが、今ではなんでもネットで検索して調べる時代なので、ホームページの充実です。ウェブ運営&活用事業ではYouTube利用など調整中です。ボランティア団体なので継続性を考えながら、できる範囲で進めてまいります。その他の事業では毎年参加していたスコシズツマーケットが無くなったので、代わりに新しく立ち上がった愛知県主催のエコアクション推進フェアに出展する予定です。木の駅プロジェクト支援事業では出荷される間伐材が少なくなったことから、昨年度同様市民対象の森林セミナーを開催することにしています。

その他賛助会員様との協働事業がもっとできればと考えていますので、御希望がありましたらお申し出ください。今後ともよろしく願いいたします。

令和7年7月 織田重己

防止隊の紹介動画が、岡崎市地球温暖化防止隊のYouTubeチャンネルでご覧いただけます。活動にご興味のある方にぜひご紹介ください。最新の情報や入会手続きは、市役所ウェブサイト内の防止隊ウェブページで確認できます。防止隊独自のウェブサイトも制作中で、今年度中にはご覧いただけるように調整しています。

岡崎市地球温暖化防止隊
YouTubeチャンネル⇒



市役所ウェブサイト内
防止隊ウェブページ⇒



地域が主役！ みんなで取り組む環境まちづくり ～地域循環共生圏のご紹介～

この特集では、私たち防止隊の事務局の一員が、環境省で研修を受け学んできたことを教えてもらいます！ みなさんは「地域循環共生圏」という言葉をご存知でしょうか。地域循環共生圏は、日本が目指す持続可能な社会の姿といわれています。しかもそれが、地球温暖化を防止する一助にもなるのです。そこで今回は、地球温暖化を防止するためのヒントにもなる地域循環共生圏についてご紹介します。

地域循環共生圏とは？

地域循環共生圏は2018年の第5次環境基本計画で、初めて位置づけられた概念です。地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくる。それとともに、地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成するという「自立・分散型社会」を示す考え方です。

その際、私たちの暮らしが、森・里・川・海のつながりからもたらされる自然資源を含めた地上資源を主体として成り立つようにしていくために、これらの資源を持続可能な形で活用し、自然資本を維持・回復・充実していくことが前提とされています。



出典：環境省ローカル SDGs 地域循環共生圏 HP

さらに地域循環共生圏は、2024年に閣議決定された第6次環境基本計画において、同計画の中心概念である「ウェルビーイング／高い生活の質」の実現に向けた「新たな成長」の実践・実装の場としても位置づけられました。

地域循環共生圏の3原則

上記のような地域循環共生圏の考え方をまとめると、以下の3原則になります。

- 地域の主体性＝オーナーシップ
- 地域内外との協働＝パートナーシップ
- 環境・社会・経済課題の同時解決

地域の多様な資源を最大限に活用しながら、環境・社会・経済の同時解決を目指すのが「地域循環共生圏」です。そのカギとなる「自立した地域」とは、自ら課題解決を続け、地域づくりを持続している地域です。課題解決の手段は、環境・社会・経済の課題を同時解決する事業を、地域で数多く生み出していくことです。

そのような事業を生み出すことを目的に、地域の人々が主体性を発揮し、地域の中と外の異分野・異業種の人たちと協働するための場が「地域プラットフォーム」です。そこから地域づくりは加速し、地域同士の支え合いのネットワークもつながっていきます。そして自立した地域の解決すべき課題の中には、地域の脱炭素も位置づいているのです。



出典：環境省ローカル SDGs 地域循環共生圏 HP

地域循環共生圏から学べる、防止隊の新たな活動の姿

地域循環共生圏の概念は、日本全体が抱えている課題（地球温暖化、生物多様性の損失、人口減少、地域活性化など）を解決していくために必要な新たな視点です。岡崎市の市民・事業者・行政といった多様な主体がオーナーシップを発揮し、協働することで、さまざまな地域課題を同時に解決し続けていくことが重要です。その上で我々防止隊に求められる役割や活動も、地球温暖化の防止にとどまらないことになります。活動を通して地域内外の方や多様な分野の人と協働し、持続的なまちづくりにますます貢献していきます！

お知らせ①：岡崎市地球温暖化防止隊、今後のイベント開催予定スケジュール

イベント名	日程	内容	実施部会
MMB 岡崎！「路線バスを利用した里山散策～三河最古の名刹「真福寺」を訪ねて～	9月21日 (日) 8:20～ 12:30	東岡崎に集合して、路線バスを利用し、自然体験の森、真福寺、岩津天満宮エリアを歩きます。行程約6キロで、解散場所は「岩津天神口」バス停で、東岡崎に戻ります。詳しくは市政だより9月1日号に掲載予定です。	交通委員会
再発見！ 環境フォトコンテスト 2025	9月30日 (火) まで 募集中	岡崎市内の「緑」や「水辺」などの自然を題材とし、「将来に残したいところ」や今すぐ「改善したいところ」の写真作品を募集しています。優秀作品には、賞状とQUOカードを贈呈予定です。奮ってご応募ください。(詳細はホームページをご覧ください。)	自然委員会 

* 申込方法など詳しい情報は、市政だよりもしくは岡崎市地球温暖化防止隊事務局までご連絡を♪

お知らせ②：岡崎市地球温暖化防止隊、各種会議開催予定日

役員会：代表・副代表・部会長・会計・監事・アドバイザー

日付	時間	開催場所
8月14日(木)	19時～21時	ZOOM オンライン開催

部会・委員会

部会名・委員会名	日付	時間	開催場所
交通委員会	7月14日(月)	19時半より開催	図書館交流プラザりぶら
広報部会	7月26日(土)	13時半より開催	りぶら市民活動センター
自然委員会・さくら委員会	8月14日(木)	19時より開催	ZOOM オンライン開催

【イベント紹介：MMB（皆、もっと、バスに乗ろう）岡崎！ 路線バスを利用した里山散策～三河最古の名刹「真福寺」を訪ねて】

ふだんは自家用車で行くようなところを、路線バスと徒歩で移動する「MMB 岡崎！」。公共交通機関の利用によるCO2排出の減少を考えるとともに、車では見過ごしてしまいそうな地域の魅力を発見してみませんか？

今回は里山散策としておかざき自然体験の森、真福寺、岩津天満宮近辺のエリアを歩きます。行程約6キロで、自然体験の森を通過してから、「薬師道」も歩く予定です。真福寺は三河最古の名刹で、身体健康と目のお薬師様として有名。写真のように緑豊かで、足腰の健康づくりにもぴったりの場所です。参加賞として充電式の携帯ライトも配布予定です。ふるってご応募ください！

日時：9月21日(日) 8:20～12:30

定員：15人(抽選)

参加費：路線バス運賃

申込：欄外下記の防止隊事務局へ、電話もしくはメールでご連絡ください。

※持ち物などの詳細は、当選者にご連絡いたします



岡崎市地球温暖化防止隊事務局

【岡崎市環境部ゼロカーボンシティ推進課内】

TEL：0564-23-6786 FAX：0564-23-6536

Eメール ondankataisaku@city.okazaki.lg.jp



2025年7月発行